

ソレイユ便り

第 62 号

発行日 令和 3 年 4 月 1 日
 発行所 社会福祉法人堀川南会
 特別養護老人ホーム ソレイユ
 発行人 施設長 宮内 永
 TEL 076-425-6200
 FAX 076-425-6255
 E-mail soleil@star.ocn.ne.jp



堀江英子様



病気や骨折など、入院退院を繰り返しましたが、元気になり畑を耕し、野菜作りを楽しんでいました。孫4人はみんなおばあちゃんに、沐浴やおむつ替えなどお世話になり大きく成長しました。

娘さんより

孫、ひ孫(7人)は、みんなおばあちゃんの応援団です。

おばあちゃん、100歳おめでとう

おばあちゃんの家に遊びに行くといつもアイスクリームを用意して待っていてくれたね。いつも喜んで迎えてくれてありがとう。コロナが収まつたら、子どもたちを連れて遊びに行くので、元気で長生きしてね。

お孫さんより

おめでとう！
私もお祝いして欲しい。

ご利用者の
ご方々より

百歳、
すごいね！

令和三年三月十四日（日）ききょうユニットの堀江英子様が、お元気に百歳のお誕生日を迎えた。新型コロナウイルス感染症予防の為、会の開催に当たっては例年と異なる対応が必要となりましたが、職員はお祝いの気持ちが伝わるように、また楽しい会になるようとに相談しながら準備をすすめました。

お祝いの会では、ご家族からのお手紙、お孫さんやひ孫さんからの素敵なおメッセージやプレゼントが披露され、参加者一同とても温かい気持ちになりました。施設長の挨拶、お祝い状と記念品の贈呈、事務長による花束贈呈、ご家族と一緒に笑顔の写真撮影、ききょうユニット職員による花笠音頭、くす玉撮影などプログラムは和やかに進みました。短いひとときではありましたが、百歳の記念日をご家族とともに過ごしていただくことが出来ました。堀江様ご本人からは、「百歳になつたよ、感謝します。すごいことだよ。」と笑顔で感想をいただきました。

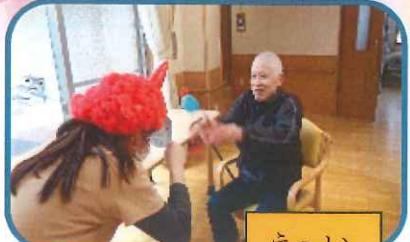
これからも、どうかお元気で活き活きとお過ごしくださいね。



すみれ・すずらん・ひまわり

節分の日は豆まきの代わりにボールを投げました。鬼に向かって思い切り投げられる方や優しく投げる方、様々でした。
そして自分も鬼になり楽しまれました。

お雛様飾りました！



あかりをつけましょぱんぱりに~

つつじ・ききょう・あやめ



寒い冬でも、入居者の皆さんが少しでも喜んでいただけるようにお誕生会や福笑い、運だめし、輪投げ、風船遊び等しました。大盛り上がりで笑い声が絶えませんでした。春にはもっと楽しい事たくさんしたいですね♪

当たり



入った



さくら・あさがお



鬼は～外！



鬼退治するぞ～！

鬼と仲良く（？）記念撮影♪



節分の日
豆まきをしました
皆さん鬼に向かって「え～い！」とボールを投げておられました。
皆さん満面の笑みを見せて下さいました♪

え～い！！



福は～内！



デイサービス

ひな祭り茶会



私、お茶習ってました



お茶菓子が一番！



ブローチ作り



可愛く出来たよ～！



どの生地で作ろうかな～



簡単に出来たよ！

フレッシュ職員紹介コーナー

特養課

看護職員

飯利 七重さん

令和3年1月 入職



利用者様に寄り添い、安心して楽しく過ごせるよう支援していきたいと思います。

特養課

介護支援専門員

高野 晴奈さん

令和3年1月 入職

日々少しずつ仕事を覚えているところです。サークル活動などを通じて、利用者様の楽しみの時間を増やしていきたいです。

特養課

ききょうユニット

介護職員

相原 陵助さん

令和3年2月 入職



異業種から転職し、介護職の難しさを日々実感しております。自身がスキルアップしていきたいと思います。

令和3年4月1日
介護報酬改定に伴って、各事業所のご利用料金が変更になりました。

介護報酬改定



【編集後記】

今年は例年より早く桜が咲きましたね。ソレイユ裏駐車場にも小さい桜の木があり、お天気の良い日に職員と利用者様が桜を愛でていました。利用者様は久しぶりに外の風にあたり、春を感じられたようでした。このような状況だからこそ、利用者様に喜んでいただけると元気になります。

4月から新しい仲間も増え、ますますパワーアップしていきますよ~



これは...お餅!かな?



元々は1月11日の鏡開きの日に予定していた「ぜんざいの会」を2ヶ月遅れで、やっと開催することができました。楽しみにしておられた利用者様に喜んでいただこうと、管理栄養士が中心となって準備しました。お米と里芋を使ってお餅に近い触感のお団子を幾つも作りました。召し上がる利用者様からは「お餅、久しぶり」とか「美味しい」など嬉しい言葉をたくさんいただきました。

ソレイユ見聞録

介護福祉士 国家試験



林さん

荻生さん

古西さん

今まで以上に責任を持ちながら精一杯に頑張ります。初心を忘れずに利用者の方々の笑顔を増やしていくけるような介護を心がけます。

今まで以上に頑張ります。

介護福祉士として、技術向上に努めて、ご利用者に寄り添った介護をしていきます。

三月、看取り介護の勉強会が施設内で行われました。生活相談員が講師となり、看取りケアの目的や職種ごとの役割、職員に求められる慈愛の心などについて学びを深めました。自分自身の死生観についても、再考する良い機会となりました。

看取り介護について考える



ソレイユの春、いろいろ

